

1. 本県周辺海域の概況(図1, 7/11現在)

- ・黒潮の流型は、蛇行型のC型で推移しています。黒潮本流は、犬吠埼沖を接岸傾向のまま北東に流去する状況が続いています。また、黒潮流路の周辺では潮目が形成されています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯39° 30′ 東経143° 30′ 付近(岩手県沖合)にあります。親潮の面積は平年より小さめで推移しています。三陸南部～鹿島灘の沿岸下層では冷水域が広がっています。

2. 海洋観測結果(7/1～9:調査船「ときわ」)

- ・水平水温図(水温, 前月差, 平年偏差)を図2～9に示しました。また、各定線の鉛直水温図を図10～13に、会瀬・鹿島定線の鉛直水温図(前月差, 平年偏差)を図14～17に示しました。表面水温は、会瀬沖で15.3～22.2℃, 大洗沖で16.5～26.5℃, 鹿島沖で18.7～24.4℃, 犬吠埼沖で20.9～24.4℃でした(図2)。
- ・前月と比べると、黒潮流路が立ち上がるような流路を示したため、本県の北部沖合では大幅に昇温(+1～+6℃)しました。また気温の上昇に伴い、海面水温も広い範囲で昇温(+1～+4℃)しました。一方、沿岸下層では、冷水の影響が強いため、顕著な昇温はみられていません(図6～7, 図14～15)。
- ・平年と比べると、表層では極沿岸(水深20m以浅)で低め、沿岸で平年並、沖合で高め基調(+1～+5℃)となりました。下層(50m深以深)では黒潮流路を除いて低め基調(-3～-1℃)となりました(図8～9, 図16～17)。
- ・潮流の特徴として、沖合では黒潮本流の北東への強い潮流(2～4ノット)がみられました。沿岸域(会瀬～鹿島沖)では、やや強い逆潮(0.5～0.9ノット)が観測されました。

3. 今後の1カ月の見通し

- ・黒潮流型は蛇行型のC型基調で推移し、黒潮本流は犬吠埼沖を接岸傾向のまま北東に流去する状況が続くでしょう。
- ・親潮の面積は小さめ～平年並で推移し、親潮第一分枝の先端は北緯39° 30′ 東経143° 30′ 付近(岩手県沖合)に停滞するとみられます。また、三陸南部～鹿島灘の沿岸下層では冷水域が広がっており、潮流も逆潮が比較的強い状況であるため、本県沖では下層を中心に冷水の影響がしばらく残るでしょう。
- ・水温を平年と比べると、本県沿岸では「低め～平年並」で推移するでしょう。

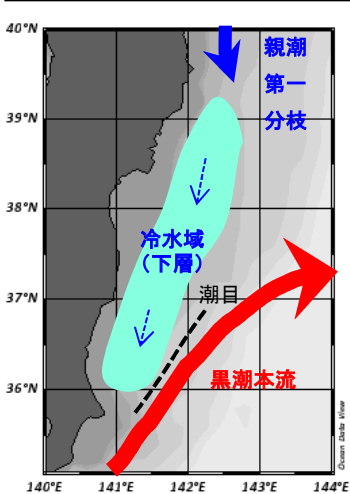


図1 海況の概要
(7月11日現在)

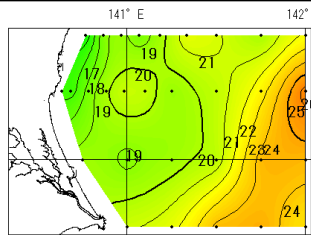


図2 海面水温(℃)

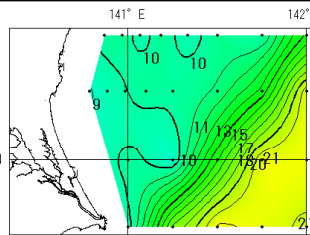


図3 50m深水温(℃)

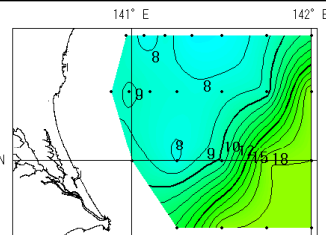


図4 100m深水温(℃)

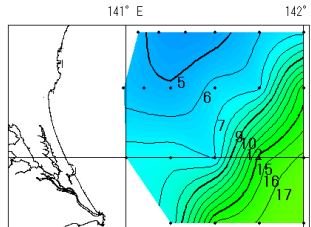


図5 200m深水温(℃)

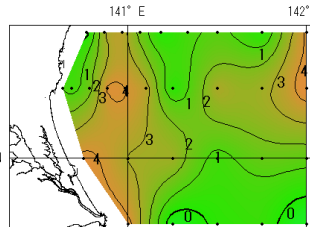


図6 海面水温前月差(℃)

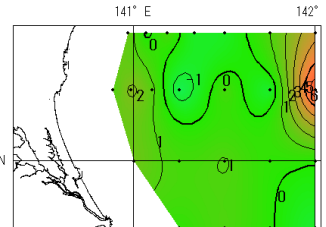


図7 100m深水温前月差(℃)

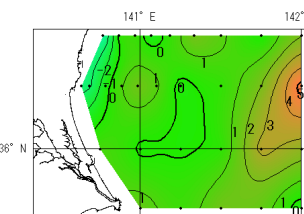


図8 海面水温偏差(℃)

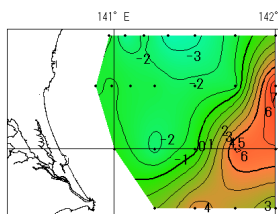


図9 100m深水温偏差(℃)

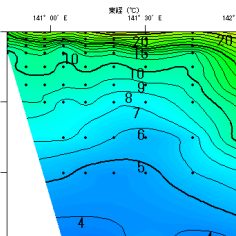


図10 会瀬沖鉛直水温(℃)

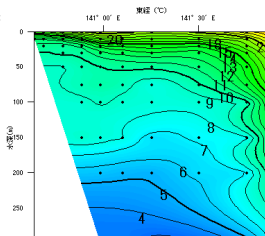


図11 大洗沖鉛直水温(℃)

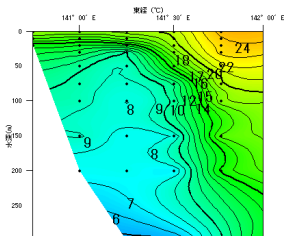


図12 鹿島沖鉛直水温(℃)

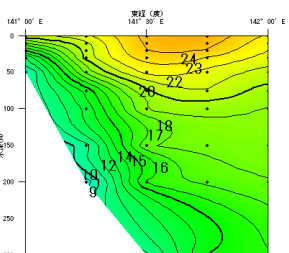


図13 犬吠埼沖
鉛直水温(℃)

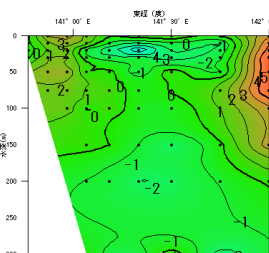


図14 会瀬沖鉛直
水温前月差(℃)

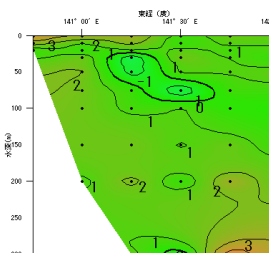


図15 鹿島沖鉛直
水温前月差(℃)

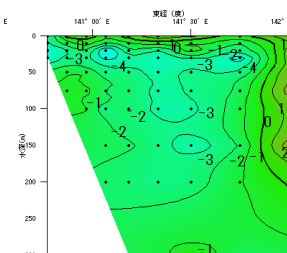


図16 会瀬沖鉛直
水温偏差(℃)

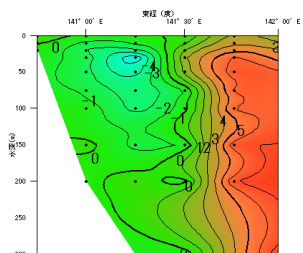


図17 鹿島沖鉛直
水温偏差(℃)